



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月13日

上場会社名 ビートレンド株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4020 URL <https://www.betrend.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上 英昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理担当 (氏名) 本多 誠一 TEL 03 (6205) 8145  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	489	—	19	—	19	—	12	—
2020年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	12.02	11.37
2020年12月期第2四半期	—	—

(注) 2020年12月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第2四半期の数値及び2021年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	774	632	81.7
2020年12月期	700	552	78.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 632百万円 2020年12月期 552百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	986	15.0	146	32.2	145	37.8	100	31.8	94.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	1,065,700株	2020年12月期	1,028,800株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	－株	2020年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	1,054,539株	2020年12月期2Q	－株

(注) 当社は、2020年12月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料は、TDnet及び当社ホームページにて同日開示しております。なお、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、証券アナリスト、機関投資家向けの決算説明会を中止することといたしましたが、決算説明の動画を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。また、当社は、前第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が再延長される中で停滞し、当社の主たる顧客層である小売業、サービス業、飲食業等においても、営業自粛や時短要請などの影響を受け、企業活動が大きく制限されました。当社においてはこのような環境の下、昨年来引き続き行っている販売パートナーとの共同営業により、ショッピングセンター、ドラッグストア等の小売業からの受注に加え、大手自動車ディーラーからの受注もありました。飲食業においても新型コロナウイルス感染症の影響により需要が急増しているテイクアウト等に対応するモバイルオーダーシステムの受注が活発化しました。

2021年6月末時点でのARRは、スマートCRMサービスは450,791千円(2021年3月末比33,485千円増)に増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によって需要が減退しているメールマーケティングサービスは266,173千円(2021年3月末比10,302千円減)に減少し、CRMサービス全体としては、720,234千円(2021年3月末比19,163千円増)となりました。

2021年6月末時点での会員数は、18,375,368名となり、既存のスマートCRM導入企業による継続的な会員獲得の活動により、2021年3月末に比べ589,773名増加し、これに伴い従量料金の売上も増加しスマートCRMサービスの売上全体の増加に寄与いたしました。

2021年6月末時点での契約社数は、スマートCRMサービスは顧客単価の高い小売業中心に7社が売上計上された一方、比較的顧客単価の低い酒類卸業や結婚式場などの7社が解約したため147社と、2021年3月末時点と同数となりました。メールマーケティングサービスは466社と2021年3月末に比べ19社減少し、CRMサービス全体としては、契約社数613社(2021年3月末比19社減)となりました。

初期費用、カスタマイズ開発、SMS費用等で構成されるカスタマイズサービスについては、前四半期に引き続きモバイルオーダーシステム関連による新規売上が売上増につながりました。このため、モバイルオーダーシステムの販売に伴う店舗用機器類の仕入、カスタマイズ等の売上原価が一時的に増加いたしました。

売上原価については、ソフトウェアの開発の強化や品質・運用水準を向上させるための投資を前四半期より引き続き追加で行なった為、人件費及びソフトウェア外注費で構成されるサービスの運用費用が増加しました。

販売費及び一般管理費については、流通・小売業への販売促進のためのWebによるセミナーを開催したことにより広告宣伝費が一時的に増加しました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は489,630千円、営業利益は19,130千円、経常利益は19,144千円、四半期純利益は12,671千円となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は594,354千円となり、前事業年度末と比較して40,896千円の増加となりました。これは主に、売掛金回収による現金及び預金の増加17,778千円、売上高増加に伴う売掛金の増加25,801千円及び仕掛品の減少2,378千円によるものであります。

固定資産は180,195千円となり、前事業年度末と比較して33,642千円の増加となりました。これは主に、本社オフィス移転に伴う設備投資等による有形固定資産の増加25,288千円、減価償却費の増加によるソフトウェアの減少12,509千円、ソフトウェア仮勘定の増加6,586千円、新オフィスの敷金払込に伴う敷金の増加等による投資その他の資産の増加14,276千円によるものであります。

この結果、総資産は、774,550千円となり、74,538千円の増加となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は115,365千円となり、前事業年度末と比較して22,992千円の減少となりました。これは主に、仕入の増加による買掛金の増加23,323千円、法人税納付による未払法人税等の減少17,845千円、本社移転の際の旧オフィスの退去時の資産除去債務の履行に伴う資産除去債務の減少6,269千円、流動負債その他の減少19,721千円によるものであります。

固定負債は26,636千円となり、前事業年度末と比較して17,184千円の増加となりました。これは、借入金の返済による長期借入金の減少6,688千円、新オフィスの資産除去債務の増加23,872千円によるものであります。

この結果、負債合計は142,002千円となり、前事業年度末に比べ5,807千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は632,548千円となり、前事業年度末と比較して80,346千円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加12,671千円、オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資及び新株予約権の行使に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ33,837千円増加したことなどによるものであります。

(キャッシュ・フローに関する説明)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ17,778千円増加し、当第2四半期会計期間末は458,555千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動で獲得した資金は、7,239千円となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期純利益19,144千円の計上、減価償却費31,162千円、仕入債務の増加22,429千円、主な支出の内訳は、売上債権の増加25,801千円、法人税等を21,520千円支払ったため等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動で使用した資金は、48,050千円となりました。支出の主な内訳は、ソフトウェアの開発による無形固定資産の取得22,558千円、本社移転に伴う新オフィスの敷金の差入による支出16,297千円、旧オフィスの資産除去債務の履行による支出5,600千円等であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動で獲得した資金は、58,507千円となりました。収入の主な内訳は、オーバーアロットメントに伴う株式の発行による収入63,369千円、ストックオプション行使による収入4,305千円、支出の主な内訳は、長期借入金の返済9,167千円であります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、一般に先行き不透明な経済状況にありますが、飲食業においては消費者の行動変容に伴うテイクアウト・デリバリー等に対応するモバイルオーダーシステムの受注が活発化しており、また、比較的ビジネスが活発であるドラッグストア、スーパーマーケットなどの量販店を中心とした小売業においては、当社の推進する顧客管理のDXに注力する企業が多く、当社のサービスに対する需要は旺盛になってきています。そのような背景から、2021年2月14日に公表いたしました2021年12月期の通期業績予想に変更はありません。今後、事態が大きく変動して業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	440,777	458,555
売掛金	97,478	123,279
仕掛品	3,540	1,162
その他	11,817	11,549
貸倒引当金	△155	△193
流動資産合計	553,458	594,354
固定資産		
有形固定資産	4,319	29,607
無形固定資産		
ソフトウェア	97,925	85,415
ソフトウェア仮勘定	1,841	8,428
その他	350	350
無形固定資産合計	100,116	94,194
投資その他の資産	42,117	56,394
固定資産合計	146,553	180,195
資産合計	700,011	774,550
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	25,877	49,200
1年内返済予定の長期借入金	16,668	14,189
未払法人税等	25,789	7,943
資産除去債務	6,269	—
その他	63,753	44,031
流動負債合計	138,357	115,365
固定負債		
長期借入金	9,452	2,764
資産除去債務	—	23,872
固定負債合計	9,452	26,636
負債合計	147,809	142,002
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	276,568	310,405
資本剰余金	206,568	240,405
利益剰余金	69,065	81,737
株主資本合計	552,201	632,548
純資産合計	552,201	632,548
負債純資産合計	700,011	774,550

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	489,630
売上原価	241,895
売上総利益	247,735
販売費及び一般管理費	228,605
営業利益	19,130
営業外収益	
為替差益	82
その他	1
営業外収益合計	83
営業外費用	
支払利息	69
営業外費用合計	69
経常利益	19,144
税引前四半期純利益	19,144
法人税、住民税及び事業税	4,452
法人税等調整額	2,020
法人税等合計	6,472
四半期純利益	12,671

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	19,144
減価償却費	31,162
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	37
受取利息	△1
支払利息	69
為替差損益 (△は益)	△82
売上債権の増減額 (△は増加)	△25,801
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,378
仕入債務の増減額 (△は減少)	22,429
その他	△20,509
小計	28,827
利息の受取額	1
利息の支払額	△69
法人税等の支払額	△21,520
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,239
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△3,595
無形固定資産の取得による支出	△22,558
資産除去債務の履行による支出	△5,600
敷金及び保証金の差入による支出	△16,297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,050
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△9,167
株式の発行による収入	63,369
ストックオプションの行使による収入	4,305
財務活動によるキャッシュ・フロー	58,507
現金及び現金同等物に係る換算差額	82
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,778
現金及び現金同等物の期首残高	440,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	458,555



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年1月18日付で、みずほ証券株式会社からオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資の払込みを受け、資本金が31,684千円、資本準備金が31,684千円増加しました。

また、当第2四半期累計期間において、新株予約権の行使による新株発行を行い、資本金が2,152千円、資本準備金が2,152千円増加しました。

これらの結果、当第2四半期会計期間末において資本金が310,405千円、資本準備金が240,405千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）

当社はbetrend事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。